

2025 年 5 月 11 日午前 10 時 30 分

復活節第 4 主日 主日礼拝

司会 深町 穰
奏楽 川名ひさ子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあいさつ)

前 奏

招きのことば ルカ 24:30-32

讃美歌 323(1,3,5)「喜び祝え、わが心よ」 一 同
交読詩編 136:1-9(P.153/149)

祈 り 司会者

《関東教区お祈りカレンダー》
佐渡教会 村上教会 中条教会
(主の祈り)

讃美歌 326「地よ、声たかく」 一 同

聖 書 旧約:ネヘミヤ 2:11-18(P.740)
新約:ヨハネ 11:17-27(P.189)

メッセージ『復興・回復を信じる』

祈 り 川上 盾 牧師

讃美歌 328「ハレルヤ、ハレルヤ(たたかむは終わり)」 一 同

献 金 一 同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(ドイツの信仰告白) 一 同

頌 栄 24

祝 祷 川上 盾 牧師
後 奏
報告・紹介

<招きのことば>ルカ 24:31-32

一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してください」と語り合った。

《5 月礼拝当番》 畠中祥世 伊藤愛子
藤生慶美 土肥清志
下境真理子 平野玲子

《今週の集会・行事》

◎ 本日 9:15 CS朝礼拝
◎ 13 日(火)牧師、育心こども園(午前) 上毛愛隣社理事会(午後)
◎ 14 日(火)10:30 紅雲町集会 午後、牧師同宗連総会
◎ 15 日(木)10:30 婦人会例会(五十嵐宅)
◎ 16 日(金)10:00 地区婦人部役員会議(原市)
◎ 17 日(土)9:30 会堂清掃 E 組

《次週の主日》

◎主日礼拝 10:30

メッセージ『あなたのための場所』

聖書:旧約:サムエル下 1:17-27(P.481)
新約:ヨハネ 14:1-11(P.196)

讃美歌 329, 334(1,3,5,6), 498, 25

交読詩編 98:1-9(P.111/107)

司会:服部直子 奏楽:木戸恵美子

※信仰告白は「前橋教会信仰告白」(7/13 創立記念日まで)

※群馬地区委員会 15:00 前橋教会

※楠元桃伝道師→太田八幡教会礼拝メッセージ

《予 告》

◎ パイプオルガン修理 19-20 日

◎ 本井康博先生講演会 25 日(日)13:00

◎ 新島学園聖歌隊による音楽礼拝 6/1(日)10:30

◎ ペンテコステ礼拝 6/8(日)10:30

《 報 告 》

◎ 2025 年度 教会役割分担一覧表

調整版として昨年度の一覧表を掲示板に貼っておきます。5 月一杯をめどに完成版を作りたいと思います。新しく役割に加わって下さる方を歓迎します。「これなら...」と思われる役割の所にお名前を書き入れて下さい。反対に、そろそろ続けるのが難しいという方はお名前を二重線で消して下さい。礼拝の司会に新たに加わって下さる方を、特に募集しています。礼拝当番は 12 月まで暫定的に組んでありますが、年に一度だけでも結構ですので、ご協力下さる方は欄外の空白の所にご記名下さい。

◎ ミャンマー地震救援募金にご協力下さい

教団社会委員会からの呼びかけに応じて行ないます。5 月中募金箱を置きます。ご協力下さい。

◎ 5 月定例役員会報告 (抄)

①2025 年度教会総会に関する件…役員選挙の結果を確定。「役員就任の祈り」と「CS スタッフ就任の祈り」をペンテコステ礼拝(6/8)で行なう。

②2025 年度教会役割分担に関する件…調整版を掲示して各自で追加・修正、5 月中に確定したい。

③2025 年度上半期各行事に関する件… *本井先生講演会(5/25/13:00) 昼食会あり *新島学園聖歌隊による音楽礼拝(6/1) 前週の講演会後会場セッティング 当日は昼食会(おなし聖歌隊員のみ昼食ご接待) *ペンテコステ礼拝(6/8) 聖餐式 赤いもの身に着け参加 *牧師 Jazz(6/22/14:00) 当日の礼拝メッセージ&奏楽も森下滋牧師 パイプオルガン修復チャリティとしてチャウ販売する *創立 139 周年礼拝(7/13) 田中浩一郎牧師のメッセージ 何らかの形で昼食交流

《 消 息 》

◎ 齋藤祥子さん … 体調を崩し、入院しております(老年病研究所病院)。回復をお祈り下さい。

《先週の集会》

	礼拝堂		オンライン	献 金
主 日 礼 拝	41	24		22,501
	昼	夜	計	
聖研祈祷会	8	4	12	
教会写生会	11			

《メッセージ》「しるしを求める信仰？」 川上牧師

列王記上 17:17-24, マタイ 12:38-42(5 月 4 日)

▼インターネットの技術は、多くの便利さをもたらしたが、一方ではネットを使った誹謗・中傷・差別といった弊害ももたらした。フェイクニュースが跋扈する中、証拠(エビデンス)に基いた価値判断を大切にしなければならぬ時代を私たちは生きている。▼新約は、イエスの元にしるし=エビデンスを求めに来た律法学者やファリサイ派のことが記される。彼らは真摯な思いでイエスにしるしを求めたのだろうか？そうではなく、イエスを潰そうと思って「お前がメシヤなら、証拠を見せてみる！」と迫って来たのではないだろうか。▼イエスはどうか答えられたか？「今の時代はしるしを求めるが、ヨナのしるし以外は与えられない」と言われた。「ヨナのしるし」、それはヨナの預言を聞いて悔い改めたニネベの人たちの姿を連想させる。「証拠を見せてよ！」と上からの物言いで迫る人ではなく、悔い改める心を持つ人に対し、イエスがメシアである「しるし」は分からない...そういうことではないだろうか。▼ではイエスはまったくしるしを見せなかった(見せる力がなかった)のだろうか？しるしなら何度も示されている。多くの病人の癒し、五千人の人との共食などである。旧約はエリヤが不思議なわざ(尽きない粉・油、やもめの息子のよみがえり)を行ない、それを見たやもめが「この人は神の人だ」と信じたエピソードである。そのような不思議なわざならば、イエスも何度も行なっていた。▼しかしイエスはその力を「どうだ、まったか!」と誇示されない。「しるし(証拠)を示してみろ!」という律法学者たちの挑発には乗らず、まことの信仰とはしるしを求めないものだということを示されるのだ。▼ヨハネ福音書では、イエスの復活の知らせに対して「私は手の釘の穴を見るまで信じない」と言ったトマスのもとにイエスが現れ、釘の穴とわき腹の傷を示し、「見たから信じたのか。見ないで信じる者は幸いである」と言われた記事がある。「しるしを求める信仰」に足を取られていたトマスに、イエスは「しるしを求めない信仰」を示された。▼映画『コンタクト』の中の印象的な場面。宇宙科学者の主人公エリーは「私は証拠のあるものしか信じない。もし神がいるなら、どうして証拠を残さないの?」と言うのに対し、神学者・パーマーが質問を返す。「君は亡くなったお父さんを愛していた?」「もちろんよ。」「じゃあ、その証拠は?」エリーは絶句する。娘が父を愛する気持ちは証拠をあげて証明するものではないのである。▼私たちも「しるしを求める信仰」を抱いてしまうことがある。自分の願い通りの展開・自分の納得する利益を得たい...そのような思いがしるしを求めさせるのである。しかし、まことの信仰とは、たとえ思い通りの道が得られなくても、それでも神を信じるという世界でもあるのだ。▼証拠に基づいて判断することがますます大切になる時代。しかし一方では、しるしを求めない・しるしを必要としない信仰がある、ということを大切に受けとめたい。